

普及現地情報



発信年月日：令和5年(2023年)6月29日

所属名：湖東農産普及課

番号：F23004

部門分類：150 野菜

発信者名：宇野

イチゴ新品種‘みおしずく’ブランド化に向けて！

6月19日、JA 東びわこイチゴ部会研修会で、令和4年度イチゴ新品種‘みおしずく’の実証結果と今年度の育苗状況を報告し、同部会としての‘みおしずく’の販売方針について議論しました。

‘みおしずく（品種名「滋賀SB2号」）’は滋賀県が初めて育成したイチゴの新品種で、湖東地域では令和4年度に1法人が実証栽培に取り組み、今年度は1法人と9農家が9月に定植する苗の増殖に取り組んでいます。普及センターは技術支援を行うとともに、5月24日に開催された湖東地域農業改良普及推進連絡会議では市町・JA等関係者に対し同品種の試食を実施する等普及推進を図ってきました。

研修会では、スライドで実証栽培ほ場の経過を振り返り、品種の特徴や品質・収量について報告しました。また、共同出荷体制による販売を初めて実施した結果、従来の市場単価より有利に販売できたことを報告しました。

さらに、部会体制を活かし部会員は原則としてJA 東びわこを通じた市場出荷を行い産地化やブランド化に向けて取り組んでいくことになりました。

今後も、普及センターでは、適正な育苗管理により目標面積の定植苗が確保でき、‘みおしずく’が安定生産できるよう指導していきます。



栽培結果を報告する普及指導員



役員会で販売体制を協議